

西北地区統合校の校名案候補に係る提案理由・県民等への意見募集結果等一覧

1 位置に着目したグループ

校名案候補及び提案理由	県民等への意見募集結果	委員の意見等
<p>【北五中央高等学校】 提案理由 ○ 「西北五」や「北五」という名称は古くからこの地域に根ざし、呼び聞き慣れた地域名称である。今回の統合は、北津軽郡（板柳町・鶴田町）と五所川原市の高校の対等統合であるため、この名称を提案した。 また、「中央」は北津軽郡と五所川原市の中心という意味で提案した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 五所川原市、鶴田町、板柳町に設置されている高校の統合であることが校名から伝わり、それぞれの高校の関係者の心情にも配慮した校名である。 ○ 板柳、鶴田、金木を含めた「北五」という名称が良いと考える。また、「中央」は五所川原市を中心とした西北地区の中心となる高校のイメージができる。 ○ 統合校の名称については、統合前の校名にこだわらず、新しいイメージを抱けるものが良い。 ○ 西北五地区の学校を統合するので、「五所川原」よりもふさわしいと感じた。 	
<p>【五所川原南高等学校】 提案理由 ○ これまで校名には原則として所在地の地名を冠してきたこと、統合校が五所川原市の南方に位置すること、五所川原市内には五所川原南小学校もあり校名として広く親しまれていることを考え提案した。また、短くてシンプルな校名の方が将来的にも飽きがこないと考え「五所川原南高等学校」とした。 ○ 普通科と工業科を含む新設校ということから、今までの「工業」を冠した校名は、違和感を持つ人もいると思われる。校名に関しては、地理的状況から判断すると五所川原の南に位置することから、「五所川原南高等学校」がふさわしいと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 五所川原市の南方に位置している学校であることが伝わりやすい名称である。 ○ シンプルで長く使えるとともに、新設校をイメージさせる名称である。 ○ 統合校が設置される地理的な場所と、個人的にはシンプルでスッと飲み込めた名前である。 ○ 西北地区の統合はあくまで普通科、工業科を含む4高校による新設高校であると認識している。校舎を新設せず、工業高校の校舎を使用するという事を考えると、冠に五所川原の地名を付ける意見には賛成である。県内の高校を見ても、高校の設置場所を示す方角を付した校名が馴染んでいる。 統合校は五所川原市の南側にあることも考えると、「五所川原南高校」が、馴染みやすいと思う。校名はその学校の大きな看板でもある。特に金木・板柳・鶴田の地域住民から高校に対する様々な意見があったことを考えると、地域住民が納得できる校名が望ましい。4校の統合ということを重ね受け止め、それぞれの地域住民が、新しい高校の生徒をいつまでも応援できるような校名であってほしい。 ○ 4校の統合による新設校なので、新しいイメージを作っていくことが大切である。これまでの県内高校の校名を見ても、設置場所を示す方角を付した校名にしている。「五所川原南高校」は住民が見て分かりやすい校名である。また、これまでの県立学校の校名の構成と同じ視点で捉えている「五所川原南高校」が望ましい。今後、西北五地域では、生徒の減少に伴って、高校の再々編が行われなくても限らない。そのことも踏まえ、柔軟に対応できるような校名が必要ではないか。 	
<p>【津軽中央高等学校】 提案理由 ○ 津軽地域の複数の市町に所在する高等学校の統合により新設されることを考慮して「津軽中央高等学校」とした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、県立高校で「津軽」という名称が入った校名はなく、五所川原市近隣地域の高校が統合したことが分かりやすい。県外の人が見ても、「津軽」という名前から「青森」と分かってもらいやすい。統合して母校がなくなった時に、五所川原市以外の高校の卒業生として、納得できる校名である。 	

2 専門学科に着目したグループ

校名案候補及び提案理由	県民等への意見募集結果	委員の意見等
<p>【五所川原工科高等学校】 提案理由</p> <p>○ 統合校は、普通科・機械科・電気科・電子機械科の4学科5学級の構成である。 工業の各学科では、工業の見方・考え方を働かせて、ものづくりを通じて健全で持続的な地域や社会の発展を担う人財の育成に向けた教育活動が継続展開される。 普通科は、文理類型にこだわらない科目履修ができるカリキュラムの編成と工業の各学科との連携によって、「科学」「技術」「工学」「数学」の分野を関連付けながら学べる学科となることが期待できる。 このことから、校名は、統合校の教育活動がイメージされやすいことも考慮して、地名の「五所川原」に「工科」を付した「五所川原工科高等学校」としたい。</p>	<p>○ 工業科のクラスが普通科よりも多いため、工業、工科または実業というニュアンスがあった方がよい。今後の情報社会なども見据えると、工業だと非常に狭義な印象を受けるので、より広義の「工科」という名称がふさわしい。また、五所川原市内に校舎を構えるため、「五所川原」の地名は残すべき。</p> <p>○ 現在の五所川原工業高校を主体として新しく設置されることから、工業を学ぶ学科が多い学校であることが分かりやすい校名が良い。</p>	
<p>【五所川原工業高等学校】 提案理由</p> <p>○ 統合校が五所川原市・北津軽郡（板柳町・鶴田町）と広い範囲にわたっており、地域を包括した適当な校名を考えることが難しいと考える。 また、工業科の生徒についてはこれまでの積み重ねられてきた進路実績が各企業に伝わりやすいと考える。 統合校では普通科クラスにおいても、キャリア教育を通して工業科に関わる内容も学ぶことができることや、工業科の生徒との交流も加わって、進路選択の幅がより広がっていくことから提案した。</p>	<p>○ 統合校に期待することは、これからの社会を生き抜くために必須な論理的・多角的思考力（工学的思考力）を身につけた卒業生の輩出であり、これは統合する各校の特色ある教育活動の有機的連携によって実現可能である。 統合校の普通科の生徒にも“工学的”な思考力・発想力を身につけてほしいというメッセージを発信する意味も含めて校名は「五所川原工業高校」が良いと判断する。また、工業高校の名の下に普通科が設置されている高校は私の知る限りではなく、この点からも「五所川原工業高校」は新しい校名としてふさわしい。</p> <p>○ 普通科が増えるが、元々は工業技術を学ぶ高校であるため、「工業」が入った校名が適切である。また、校名が変わることによって校歌などの歌詞などにも影響があると思うので、校名を変えない方が様々な面で便利だと思う。</p> <p>○ 五所川原工業高校への吸収合併ではないが、校名は「五所川原工業高校」が良い。工業科と普通科が併置することで、普通科の特色化ができると考える。例えば、就職に強い普通科が考えられる。</p> <p>○ 現在の五所川原工業高校を主体として新しく設置されることから、工業を学ぶ学科が多い学校であることが分かりやすい校名が良い。</p> <p>○ 五所川原地区から工業高校の名称の学校がなくなれば、この地区から工業を目指す人が少なくなる可能性がある。校名は「五所川原工業高校」とし、普通科が併設されることで幅広く学ぶことができる学校として認知されると思う。</p> <p>○ 「工業」の名称が技能習得をする高校であることが最も分かりやすい。</p> <p>○ 就職や部活動等で実績があるから。また、「五所川原工業高校」の名前がなくならないでほしいから。</p>	

校名案候補及び提案理由	県民等への意見募集結果	委員の意見等
<p>【五所川原実業高等学校】</p> <p>提案理由</p> <p>○ 五所川原市に設立する統合校ということで、「五所川原」を冠する。工業科と普通科を設置するという意味合いでそれらを併せ持つ「実業」を付す。なお、「実業」には専門学科のみというイメージがあるが、全国的に見れば進学等に力を入れている普通科のある学校もある（早稲田実業高校、鹿児島実業高校等）。また、第1期実施計画の西北地区統合校における教育活動に記されている、「普通科においては、金木高校、板柳高校、鶴田高校における特色ある教育活動を引き継ぎ、国際理解、地域ビジネス、生活産業に関する教育に取り組む」という点からも「実業」はふさわしいと考える。更には「実業」を付すことで、将来的に学科・コースの柔軟な変更も可能となる（例えばビジネス学科・コース、スポーツ学科・コース等）と考える。</p>	<p>○ 工業科のクラスが普通科よりも多いため、工業、工科または実業というニュアンスがあった方がよい。今後の情報社会など見据えると、工業だと非常に狭義な印象を受けるので、より広義の「実業」という名称がふさわしい。また、五所川原市内に校舎を構えるため、「五所川原」の地名は残すべき。</p> <p>○ 「将来の学校の方向性に対し、柔軟に対応できる点」という校名案候補の提案理由に同意する。</p>	
<p>【五所川原総合高等学校】</p> <p>提案理由</p> <p>○ 統合校の所在地が「五所川原市」であるという点と、普通科と専門学科の工業科の併設なので、お互い連携を取って、特色のあるカリキュラムを組み、西北唯一の「専門性のある総合的な高等学校」という点から、地名である「五所川原」に加え「総合」を付した。</p>	<p>(意見なし)</p>	

3 理念に着目したグループ

校名案候補及び提案理由	県民等への意見募集結果	委員の意見等
<p>【五所川原志学館高等学校】</p> <p>提案理由</p> <p>○ 今までの校名にとらわれることなく、4校統合をまっさらな気持ちで考えたい。「志学」は論語に出てくる言葉であり、新しい学校に集う生徒が、それぞれに志を立て、自分の目標を目指し、真摯に学びに取り組んでほしいと考えた。「館」を付けたのは、4校が1つの屋根の下に集い、目標に向かって学びに取り組んでほしいと考えたことによる。また、県内には「館」の付く高校がなく、音の響きも新鮮であることから、新設校にふさわしいと考えた。</p>	<p>○ 高校が目指す姿勢が校名から伝わりやすく、理念を校名に付すことはこれまでの県立高校にはなかった発想であり、令和新時代に設置される高校の校名としてふさわしいと感じた。</p>	
<p>【五所川原統合高等学校】</p> <p>提案理由</p> <p>○ 地名部分に「五所川原」を選択した理由には、統合校の設置場所が五所川原市で決定していること、また、統合される4校の所在地名全てを盛り込むことは不可能に思われたことの2つが挙げられる。</p> <p>地名の次の部分に「位置」や「専門学科」を示す語句を選択しなかった理由には、過去に例のない4つの高等学校を統合すること、普通・機械・電子機械・電気の4つの学科で発足することの2つが挙げられる。「統合」を選択した理由は、「位置」や「専門学科」以外にはなるが、校名を目にし、耳にするたびに、人々が統合になった4校のことを思い起こしてくれるように感じたからである。</p>	<p>(意見なし)</p>	
<p>【地域創生高等学校】</p> <p>提案理由</p> <p>○ 地域に愛着を持ち、地域課題に関心を寄せ、その解決に貢献できる人財育成を目指す学校になってほしいという願いを込め「地域創生高等学校」とした。</p>	<p>(意見なし)</p>	

4 その他校名案候補に関する意見

<p>委員からの意見</p> <p>○ 「五所川原工業高等学校」の校名をそのまま使用してほしいと思うものの、新設する統合校としてはどうかと考えさせられる（改名もやむなし）。各々の案を尊重しながらも工業の「工」の字だけは校名に入れてほしいと望む。</p> <p>参考：県民等からの意見募集結果</p> <p>○ 統合後、入学したいと思う校名であり、また将来的に少子化が進みさらに統合が行われる場合を想定し、シンプルに「津軽高校」が良い。</p> <p>○ 統合対象校の関係者がそれぞれの高校に対して持っている様々な思いにこだわることなく、統合校に入学してくる生徒たちが新しいスタートを切っていくため、また今後のこの地域の動きを考えながら、生徒や地域住民が理解しやすい、馴染みやすい校名を検討してほしいと願う。</p> <p>○ 工業高校の「工」の一文字を校名に入れてほしいと望む意見があることも理解できるが、それは金木高校、鶴田高校、板柳高校の関係者にとっても同じ思いがある。しかし、それぞれの一文字を使って校名とすることは、現実的には難しいと理解している。</p> <p>○ 五所川原市内に校舎を構えるので、「五所川原」という地名は残すべきである。また工業科のクラスが普通科よりも多いことを考えると、工業が学べるというニュアンスが入っている方が分かりやすい。</p>

※校名案候補を否定する意見は掲載していない。